

- 1 F☆☆☆☆製品
- 2 和室・洋間に最適
- 3 簡単施工
- 4 非塩ビ

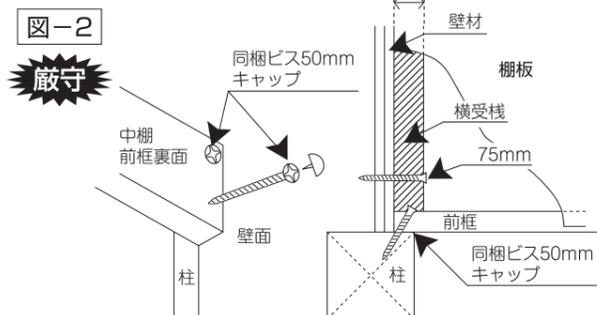
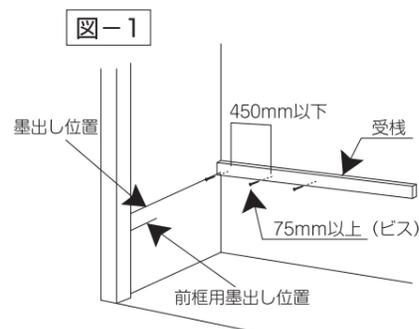


■ 真壁・施工手順

- 1 壁面の下地処理
受棧の取り付け位置に胴縁、間柱等の下地処理が施されている事を確認して下さい。
- 2 受棧の取り付け
受棧と前框の取り付け位置に墨出しを行い、受棧をカットし位置にあわせて後受棧を取り付けます。(図-1)
ビスは75mmのものを使用し、間隔450mm以下で受棧を固定して下さい。
注意) 受棧をカット時、切り口にバリが発生した場合は、速やかに取り除いて下さい。
- 3 前框・棚板の切断
前框は内寸法に合わせて切断して下さい。棚板は溝加工側が前になるため、棚板の奥行きを切断する場合は必ず後側から切断して下さい。(図-A)
- 4 前框・棚板の固定
前框を前框用墨出し位置に合わせ横受棧上部墨出し位置と前框の上部を合わせて下さい。(図-B)
前框の裏面より柱に向かって同封のビス(50mm)にて柱の中心に向かって必ず2ヶ所ずつ固定して同封のビス隠しキャップを被せて下さい。(図-2)
横受棧をカットし、取り付け位置に合わせて同封のビス(75mm)にて450mm以下の間隔で固定します。
前框の凸部分と受棧に接着剤(現場調達)を塗布して下さい。
棚板の奥側を先に合わせ、前框の凸部分と棚板の溝加工部分をはめ込んで下さい。
棚板表面より200mm以下の間隔で固定します。(図-3)
- 5 雑巾摺り・ビス隠しキャップの取り付け
受棧取り付けビスにビス隠しキャップを被せて下さい。
棚板と壁との隙間・釘跡を隠すように、隠し釘と接着剤を併用して雑巾摺りを取り付けて完成です。

直接養生テープや粘着テープ、粘着ラベル等を貼らないで下さい。(ダンボール等で養生して下さい)

注意

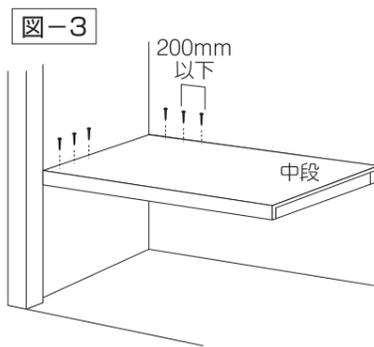


■ お取り扱い上の注意

- 1 この商品は、一般住宅用の押入れクロゼット収納棚板セットです。用途以外のご使用はおやめください。
- 2 キャスター付き収納ボックスや重量のある荷物の出し入れは、棚板の表面に傷をつける恐れがありますので、取り扱いには十分気を付けて下さい。
- 3 耐用荷重は通常の使用、中棚で200kg、枕棚で100kgです。それ以上の荷重がかかると危険です。(耐用荷重は施工手順にそって施工された場合)
- 4 衝撃荷重や集中荷重をかけないようにして下さい。特にお子様が中で遊んだり飛び跳ねるなど枕棚にぶら下がったりしますと危険です。
- 5 サーチライト等の熱源を直接当てないようにして下さい。
- 6 お手入れは水で濡らし固く絞った雑巾で拭いて下さい。(家庭用洗剤及びシンナー・ベンジン・漂白剤等有機溶剤は使用しないで下さい。)
- 7 直接養生テープや粘着テープ、粘着ラベル等を貼らないで下さい。(建築完了までダンボール等で表面を養生して下さい)

■ 施工の前に

- 1 ご使用前に商品に不足がないか、ご確認ください。(商品明細を参考に)
- 2 十分な検品をして梱包しておりますが製品上の問題等や、運送中に発生した傷等がございましたら、ご使用前にお買い上げ先まで至急ご連絡ください。

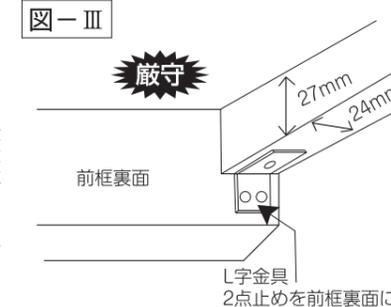
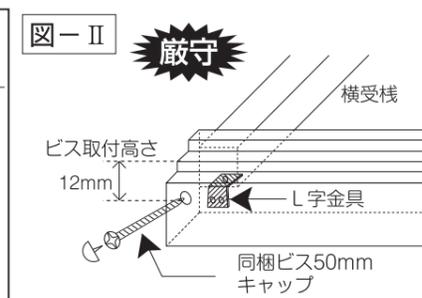
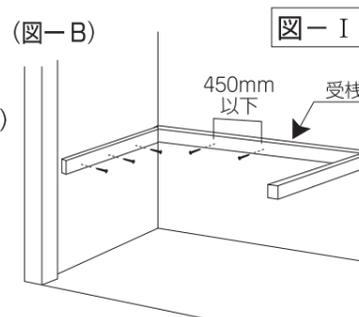


■ 施工時には、必ずこの施工手順に従って施工してください。
施工完了前には、荷重をかけるしないで下さい。
(施工後は弊社で責任を負いかねます)

■ 大壁・施工手順

- 1 壁面の下地処理
受棧の取り付け位置に胴縁、間柱等の下地処理が施されている事を確認して下さい。
- 2 受棧の取り付け
受棧の取り付け位置に墨出しを行い、受棧をカットし位置にあわせて後受棧を取り付けます。
横受棧は前框の厚み分をひいた長さにカットし取り付けます。(図-I)
ビスは75mmのものを使用し、間隔450mm以下で受棧を固定して下さい。
注意) 受棧をカット時、切り口にバリが発生した場合は、速やかに取り除いて下さい。
- 3 前框・棚板の切断
前框は内寸法に合わせて切断して下さい。棚板は溝加工側が前になるため、棚板の奥行きを切断する場合は必ず後側から切断して下さい。(図-A)
- 4 前框・棚板の固定
前框を墨出し位置に合わせ横受棧の上部と前框の上部を合わせて下さい。(図-B)
前框正面より横受棧小口に向けて50mmのビスにて固定。
ビス隠しキャップを被せて下さい。(図-II)
前框裏面と横受棧を同封のL字金具で縦に必ず固定して下さい。(図-III)
前框の凸部分と受棧に接着剤(現場調達)を塗布して下さい。
棚板の奥側を先に合わせ前框の凸部分と棚板の溝加工部分をはめ込んで下さい。棚板表面より200mm以下の間隔で固定します。(図-IV)
- 5 雑巾摺り・ビス隠しキャップの取り付け
受棧取り付けビスにビス隠しキャップを被せて下さい。
棚板と壁との隙間・釘跡を隠すように、隠し釘と接着剤を併用して雑巾摺りを取り付けて完成です。

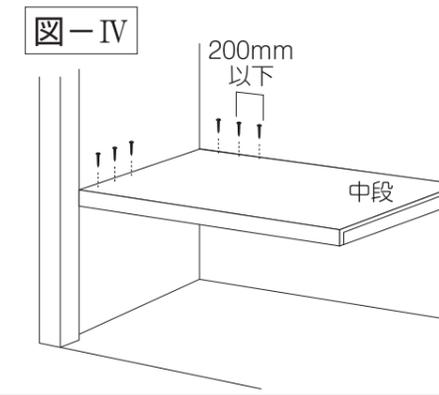
注意 直接養生テープや粘着テープ、粘着ラベル等を貼らないで下さい。(ダンボール等で養生して下さい)



ご確認下さい

付属金物部品がすべて揃っているかご確認ください。

	3R(970mm)	4.5R(1,450mm)	6R(1,980mm)
L-50	4	4	4
L-75	10	11	12
L字金具	2	2	2
L字金具用ビス	6	6	6
ビスキャップ	14	15	16



株式会社クトクマーケティング

■ 西日本 岸和田市木材町9-3 TEL 072(436)1491(代)・FAX 072(436)1497
■ 東日本 千葉県流山市駒木603-1 TEL 04(7155)2101(代)・FAX 04(7155)3043